

## 続「高校」の分類

### Ⅲ 学習内容（学科・コース）による分類

高等学校では、卒業に必要な単位をそろえることで卒業になります。単位は、授業に出席する、レポートを提出する、テストで合格点を取る、などの積み重ねでもらえます。原則、週に1時間の授業を1年間受けることで1単位になります。例えば、国語の授業が週に4時間あれば、その学年の国語の単位は4単位ということになります。

中学校までは、どの教科を何時間履修するかは公立学校は日本全国どこも同じでした。高校は、必修科目のほか、選択科目があり、学校によって学べる内容はずいぶん違います。どの高校でも、国社数理英を中心とした共通履修科目（いわゆる、必修科目）は学びますが、その内容と単位数は学科によって異なります。おおむね、次の表のような感じです。また、学区制がなくなり、府内全域の高校を受験することが可能になりました。

全日制課程					CS
普通科			総合学科	専門学科	総合学科
普通科	総合選択制	単位制			
共通履修科目 70～80 単位	共通履修科目 約 60 単位	共通履修科目 約 40 単位	共通履修科目 40～50 単位	共通履修科目 40～55 単位	共通履修科目 約 40 単位
	エリア指定科目 8～12 単位	自由選択科目 約 50 単位	総合選択科目 自由選択科目 40～50 単位	専門科目 40～50 単位	自由選択科目 約 50 単位
選択科目 10～20 単位	自由選択科目 20 単位程度				

#### ① 普通科

共通教科（国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、情報）を幅広く学び、広い知識と教養、柔軟な思考力を養います。ほとんどの私立学校と公立学校の3分の2くらいは普通科です。難易度も学校によって全然違います。時間割表の科目の名前は同じでも、学ぶ内容には差があります。教科書の分厚さも違います。近年は、公立でも、さまざまな「コース」を設けて、他の学校にはない特色を作ろうとしている高校もあります。

卒業後は、大学や専門学校に進学する人が多いです。

（例） 池田（石橋）、渋谷（石橋）、吹田（岸辺）、桜塚（岡町）、山田（万博記念公園）  
刀根山（蛍池）、箕面（牧落）、春日丘（茨木）、港（弁天町）、吹田東（千里丘）  
北千里（北千里）、摂津（摂津市）東淀川（新大阪）、北摂つばさ（茨木市）  
豊島（千里中央）、緑風冠（野崎）

（ ）内は最寄駅

## ② 総合学科

公立高校に設置されてます。選択科目が多く、3年生では時間割のほぼすべてを自分で選ぶようになります。選択科目として、普通科目だけでなく、専門科目も用意されています。科目選択の参考になるように、関連する科目をまとめて「系列」としています。「系列」は高校によって違います。卒業後の進路は、大学、専門学校への進学も、就職もあり、学習内容同様、多岐にわたります。

(例) 柴島(崇禅寺)、千里青雲(千里中央)、芦間(守口)、咲くやこの花(西九条)、  
今宮(新今宮)

## ③ 専門学科

一部の私立高校にも設置されていますが、大半は公立高校です。それぞれの学科に応じた内容の「専門科目」を多く学びます。自分の学びたいこと、将来就きたい職業がはっきりしている人には、効率の良い学び方でしょう。ひとくちに「専門学科」といっても、学習内容も難易度もさまざまです。卒業後の就職に向けて専門的な知識や技能・資格を身につけるための学科もあれば、大学受験のための勉強を効率的に進めるための学科もあります。

### 【専門学科】

商業に関する学科・グローバルビジネス・農業に関する学科・工業に関する学科・情報科学・英語・国際教養・国際文化・グローバル・美術・体育に関する学科・国語・理数・総合科学・サイエンス創造・文理・芸能文化・演劇・音楽・総合造形・福祉ボランティア・食物文化・教育文理

実業系(農業・商業・工業)の学科は、近年、比較的倍率が低く、合格しやすくなっています。普通科系(文理・理数・国際など)は、とびぬけて高い学力が必要です。芸術・体育系は特殊な技能を伸ばすのに適していますが、将来の職業選択の幅は他の学科ほど広くありません。

(専門学科の詳細については次号で)